

第33回こども育成支援会議 配付資料3
茨木市次世代育成支援行動計画(第3期) PDCA結果報告書(案)検討

評価の凡例: ○=及第、△=不足、×=不可

ページ	事業No	評価	コメント	担当課	回答(対応など)
1	1101	×	実施できなかった要因分析がなされていない	こども政策課	こどもを生ま育てることの意義や重要性などについての普及啓発については、事業No.1103の取組みで一定進んだが、その他を検討するも事業化ができませんでした。
2	1102	○		こども政策課	回答不要
3	1103	△	実施した事業に対する評価は？	こども政策課	対応済回答不要
			活動指標についての評価は？	こども政策課	対応済回答不要
4	1104	△	指標①②についての評価についてのエビデンスは？	こども政策課 子育て支援課	修正済回答不要
			市民に浸透したとの判断は如何に？	こども政策課 子育て支援課	子育て支援課修正済
5	1105	○	実施率(面談等実施実績/母子手帳交付数)があれば	保健医療課	母子健康手帳は多胎児妊娠のため2冊以上交付するところから妊娠届実績をもとに算出すると、面談等実施率はほぼ100%(産後の母子健康手帳別冊(妊婦健康診査受診券等綴)交付以外の全員)となっています。
6	1106	○	定員管理については課題と思われるが	保健医療課	定員の検討も必要だと考えていますので、課題に加筆します。
7	1107	△	実施率(面談等実施実績/母子手帳交付数)があれば	保健医療課	実人数を把握していませんので、実施率は把握できません。
			できなかったことがないとは？	保健医療課	匿名の相談については、適切な助言や支援が実施できているかどうか評価が難しいと考えますので、修正します。
			ニーズに100%こたえたのか？	保健医療課	苦情や要望が届かないため、判断することはできません。
8	1108	△	できなかったことがないのに課題があるとは？	保健医療課	訪問時に不在で電話や手紙でも連絡がつかず、タイムリーな状況把握、相談支援ができないことがありますので、修正します。
9	1109	○	助成事業なのでPDCAサイクルによる評価になじまない	保健医療課	回答不要
10	1110	○		保健医療課	回答不要
11	1111	○		保健医療課	回答不要

ページ	事業No	評価	コメント	担当課	回答((対応など))
12	1112	○		子育て支援課	回答不要
13	1113	△	助成対象者数とは、申請要件のある数が申請した数か？	こども政策課	申請した数
			できなかったこと、課題が未記載＝周知は完ぺき？	こども政策課	制度利用者の大半は、出産一時金が支給されない生活保護世帯であり、当該世帯に対しては担当課を通じて周知している。
14	1201	○	未受診の要因分析は？	保健医療課	
15	1202	○		保健医療課	回答不要
16	1203	○		保健医療課	回答不要
17	1204	○	2次健診受診率は100%なのか	保健医療課	平成30年度小児科89.2%、心理相談93.3%、平成29年度小児科85.9%、心理相談91.9%、平成28年度小児科87.1%、心理相談91.1%、平成27年度小児科79.4%、心理相談95.9%となっております。保健師フォローも平行して実施しており、小児科は発育・発達がすすみ未受診の割合が高くなっています。
18	1205	○		保健医療課	回答不要
19	1206	△	施設の設置運営事業でPDCAサイクルになじまない	保健医療課	回答不要
			【A】の課題改善とは何か	保健医療課	子どもの症状に応じたスムーズな診療、込み合う時期には駐車スペースの確保を行っています。
			本市からの搬送実績は？	保健医療課	高槻島本夜間休日応急診療所が行っている小児救急については、初期救急と呼ばれるもので、基本的には救急車を利用するのではなく、患者の方がご自身で来院することとなります。なお、本市の小児科患者数については、平成30年度5,408人、平成29年5,935人、平成28年度5,907人となっております。
			財政面での報道については？	保健医療課	ご質問の財政面での報道については、自主的な財源確保のための大阪府三島休憩救急センターが独自に実施したクラウドファンディングのことと拝察いたしますが、これは三次救急医療機関の取り組みであり、小児初期救急医療を実施している高槻島本夜間休日応急診療所の取り組みとは関係ございません。
			全体の総括に関するエビデンスは？	保健医療課	上記でも回答しましたとおり本市の小児科患者数については、急激に減少することなく一定の市民の方が高槻島本夜間休日応急診療所を利用しておられることから、小児救急医療体制は一定確保されており、子どもの健康保持に繋がっていると認識しております。過大な表現となっておりますので、一部修正いたします。

ページ	事業No	評価	コメント	担当課	回答((対応など))
20	1207	×	事業概要についてのエビデンスが不明	保育幼稚園総務課	学校保健安全法に基づき実施し健康面の把握により健康の維持増進が図れ子どもの健やかな成長を確認できていることがエビデンスとなります。
			できなかったこと・課題がないのに評価Aとは？	保育幼稚園総務課	病気等の早期発見を行い、こどもの健康面の維持増進を図れたことにより「A」としております。
			目的達成による終了なのか？	保育幼稚園総務課	他の施策への計画において掲げることも検討しましたが、8/13時点で継続する方向性に転換しております。
21	1208	○	全体の評価で不安解消につながったエビデンスは？	保健医療課	個別相談を受けられた保護者の方が、概ね納得、安心された様子から、不安の解消につながっていると判断しております。
22	1209	○		保健医療課	回答不要
23	1210	×	全体の総括は？「努めます」はいかなる総括なのか？	保育幼稚園総務課	「乳幼児期から食生活の大切さを学ぶことは、生涯にわたる健康な生活を営む上で必要であり、家庭環境等による影響も考慮して保育所・幼稚園において様々な活動を通じて食に関して学べる環境をつくりました。」に修正します。
			育てることが出来たことについてのエビデンスなしで評価A？	保育幼稚園総務課	「食育教材による食指導や、家庭への啓発文や取組の紹介により家庭での食生活に参考となる情報提供を行うなどの取組により、子どもや保護者の食に対する姿勢等から興味や関心を育てることができました。」に修正します。
			評価Aなのに廃止とは※実施が目的化していないか！	保育幼稚園総務課	他の施策への計画において掲げることも検討しましたが、8/13時点で継続する方向性に転換しております。
24	1211	×	1210に同じ ※目的達成による廃止か	保育幼稚園総務課	「食育教材による食指導や、家庭への啓発文や取組の紹介により家庭での食生活に参考となる情報提供を行うなどの取組により、子どもや保護者の食に対する姿勢等から興味や関心を育てることができました。」に修正します。 他の施策への計画において掲げることも検討しましたが、8/13時点で継続する方向性に転換しております。
25	1212	×	1210に同じ ※目的達成による廃止か	保育幼稚園総務課	他の施策への計画において掲げることも検討しましたが、8/13時点で継続する方向性に転換しております。
26	1213	×	1210に同じ ※目的達成による廃止か	保育幼稚園総務課	他の施策への計画において掲げることも検討しましたが、8/13時点で継続する方向性に転換しております。
27	1214	×	1210に同じ ※目的達成による廃止か	保育幼稚園総務課	他の施策への計画において掲げることも検討しましたが、8/13時点で継続する方向性に転換しております。

ページ	事業No	評価	コメント	担当課	回答(対応など)
28	1215	×	全体の総括で、「提供してまいります」なのか！	保育幼稚園総務課	「保育所・幼稚園では、利用者からの多様なニーズへの対応を検討し、保育の環境整備や、子育て家庭支援として相談業務を行ない、社会情勢の変化に合わせた教育・保育の一体的提供を推進した結果、認定こども園の普及が進み、支援体制が充実しました。」に修正します。
			評価Aについてのエビデンスは？	保育幼稚園総務課	利用者と相談件数の増加がエビデンスであると評価しております。
29	1216	×	1215に同じ	保育幼稚園総務課	総括は「1215」と同様。評価については、教育・保育提供区域ごとに1園(計5園)の認定こども園化を計画しており、それが達成され、教育・保育の一体的な提供が進んだため「A」としています。
30	1217	×	1215に同じ	保育幼稚園総務課	総括は「1215」と同様。保護者の就労の状況にかかわらず、同じ施設に通えることは有益であることから評価を「A」にしています。
31	1218	×	1215に同じ	保育幼稚園総務課	総括は「1215」と同様。
			活動指標①が未記載で評価Aで、なぜ継続なのか？	保育幼稚園総務課	取組全般に対する総合的な評価により、「A」としております。
32	1219	×	1215に同じ	保育幼稚園総務課	総括は「1215」と同様。
			※全体の総括を除けばレポートは及第なのに・・・	保育幼稚園総務課	回答不要
33	1220	×	1215に同じ	保育幼稚園総務課	総括は「1215」と同様。評価については、公立の待機児童保育室あゆみとみらいが開設され、現在、適正に保育環境が整えられているため「A」としています。
			事業の運営経費ではなく運営実績での評価は？	保育幼稚園総務課	待機児童保育室の、入所児童数で評価することが適正ではないと考えます。
			※そもそも事業概要と活動指標に齟齬がある	保育幼稚園総務課	認可保育所に準じた基準での運営に係る経費と考えるので、活動指標に齟齬はないと考えます。
34	1221	×	1219に同じ	保育幼稚園総務課	総括は「1215」と同様。
35	1222	×	全体の総括で「概ね」についてのエビデンスが	保育幼稚園事業課	利用を希望したすべての方に利用していただけたと考えているが、保護者の就労形態や利用したい理由の多様化が進んでいる中で、すべてのニーズに対応できたかは不明であることから、おおむね達成できたとしております。
			【C】での課題も定まらない継続＝漫然とした継続？	保育幼稚園事業課	ニーズの多様化、複雑化の把握の必要性はあります。
36	1223	×	1222に同じ	保育幼稚園事業課	1222に同じ

ページ	事業No	評価	コメント	担当課	回答((対応など))
37	1224	×	施策内容と全体の総括に齟齬がある	保育幼稚園事業課	就労等の保育の必要な方が利用する事業となりますので、全体の総括との齟齬はないかと考えております。
			施策内容「知識・技能の向上」の取組みは？	保育幼稚園事業課	施設において、保育士の研修等に勤めていただいております。
			課題欄が空白で評価Aなのか！	保育幼稚園事業課	修正済
38	1225	×	全体の総括で「図ります」の表記は不適切	保育幼稚園総務課	「保育所・幼稚園において、社会ニーズの変化や経験年数、課題別研修を企画及び実施し、知識の習得だけでなく、職員間の課題の共有と解決方法の研究など職員の知識・技能の向上を図りました。」に修正します。
			廃止する理由が不明確！	保育幼稚園総務課	他の施策への計画において掲げることも検討しましたが、8/13時点で継続する方向性に転換しております。
39	1226	×	1225に同じ	保育幼稚園総務課	総括は「1225」と同様。廃止する理由を「待機児童解消とあわせて安全等に配慮した整備と保育環境の向上を目的としているため、保育の提供体制の充実に統合する。」に修正します。
			課題が不記載はNG	保育幼稚園総務課	できなかったことは「すべての施設の整備はできなかった。」と、活動目的の課題は「施設整備にかかる費用の確保と、私立施設については整備を実施するかは実施主体である各園の判断に委ねられていること。」に修正します。
40	1227	×	1225に同じ	保育幼稚園総務課	総括は「1225」と同様。廃止する理由は、引き続き事業は実施していきますが、事務事業のため、PDCAサイクルにそぐわない事業であることから、廃止としています。
			※認可・確認事業がPDCAサイクルになじむのか？	保育幼稚園総務課	回答不要

ページ	事業No	評価	コメント	担当課	回答((対応など))
41	1228	△	面接相談件数の急減要因の分析は？	子育て支援課 保育幼稚園事業課 保健医療課	こども相談室が担ってきたつどいの広場等へ訪問相談について、すくすく親子教室へ移管したことによる件数の減。
			全体の総括中「民間ノウハウを活力し」⇒活用し	子育て支援課 保育幼稚園事業課 保健医療課	修正済
42	1229	○	配布は手段であるのに、事業目的となっていないか	子育て支援課 保健医療課	「発信」についての活動実績指標として配布数を記載しています。
			※配布効果の実証がなされていない	子育て支援課 保健医療課	発信の効果については、測定しておりませんが、関係機関が把握した市民の声を参考にしております。
43	1230	○	1229に同じ	子育て支援課	相談件数が増加していることや、関係機関からの出張訪問の希望も多いことから、ニーズは高いと認識している。
44	1231	○		子育て支援課	回答不要
45	1232	×	全体の総括「早期の事業導入に努める」はNG	子育て支援課	「引き続き～努める」までを削除します。
			課題における「効率的な事業運営」の効率的とは？	子育て支援課	対象乳児との面接実施に係る時間的効率性を改善する。再訪問、再々訪問をできるだけ少なくする方策を検討する。
46	1233	×	1232に同じ	子育て支援課	1232に同じ
			※全体の総括を除けばレポートは及第なのに・・・	子育て支援課	回答不要
47	1234	×	1233に同じ	子育て支援課	1233に同じ
48	1235	×	1233に同じ	子育て支援課	1233に同じ
49	1236	×	1233に同じ	子育て支援課	1233に同じ
			活動指標①H29実績の分析は？	子育て支援課	
50	1237	×	1233に同じ	子育て支援課	1233に同じ
51	1238	×	1233に同じ	子育て支援課	1233に同じ
52	1239	△	1233に同じ	子育て支援課	1233に同じ
			「受入れできなかった」のに評価Aとは？	子育て支援課	保育希望時間帯が集中し、定員をオーバーし受け入れができなかったが、全体の稼働率は70パーセントは超えているおり、年々利用者数も増加傾向にあるため。
			受入れ不可の件数は？その後の対応は？	子育て支援課	保育所等と異なり、日々預かりのため特定の時間帯に利用が集中し利用できないことがあるが、他の施設を紹介することなどにより対応している。

ページ	事業No	評価	コメント	担当課	回答((対応など))
53	1240	×	全体の総括が未記載なのに【A】で継続とする根拠は？	保育幼稚園事業課	修正済
54	1241	×	事業概要の普及・啓発については？	こども政策課	子育てハンドブックや市ホームページに掲載しているほか、転入届・出生届の提出時に市民課の窓口で制度案内を行っている。
			※手当支給はPDCAサイクルになじまないのでは	こども政策課	回答不要
55	1242	×	評価Aとする根拠は？	こども政策課	15歳まで対象年齢を拡大したことにより、市民サービスの向上につながったと評価しているため。
			※助成申請はPDCAサイクルになじまない	こども政策課	回答不要
56	1243	×	全体の総括が空白	保育幼稚園事業課	対応済回答不要
			※全体の総括を除けばレポートは及第なのに・・・	保育幼稚園事業課	回答不要
57	1244	×	1243に同じ	相談支援課	対応済回答不要
58	1245	○		子育て支援課	回答不要
59	1246	△	【C】欄が未記載	子育て支援課	活動目標は一定達成されたため、達成できなかったことや、課題については記載ありません。評価は活動指標(参加者数)に鑑み「C」としていましたが、活動目標達成として「A」に変更します。
			※イベント開催に関する記載がない	子育て支援課	支援団体の交流という所期の目標が一定達成されたため、平成30年度は、ローズWAMでの観劇を実施しましたが、台風接近による警報発令のため午後の部が中止となっており、参加者数は減少しています。また、平成29年度も荒天のため参加者数が減少するなど、イベント参加者数については、天候等に左右されるため増減しております。
60	1247	○		子育て支援課	回答不要
61	1248	○	※評価Bは他項目に比してシビアでは・・・	子育て支援課	受講者アンケート等により、受講者の希望する内容とずれていることがあったため。課題にも記載。
62	1249	○	【C】「おおむね、達成」の「おおむね」とはいかなる達成か？	相談支援課 地域福祉課	相談・支援件数、「子ども”わいわい”ネットワーク茨木」への協力など、取組を維持・継続できていることから、おおむね達成できたと考えております。
63	1251	×	全体の総括が空欄で「継続」とする	中央図書館	総括入力します。
			活動指標①ブックスタートの参加状況は・・・開催が目的か？	中央図書館	活動指標を絵本配付数に変更します。
64	1252	×	全体の総括で、「支援してまいります」なのは！	保育幼稚園総務課	「社会情勢により子育て家庭が孤立化しないよう、また子育てに必要な情報提供や育児相談支援が必要であることから、多方面にわたる情報を把握し、子育て家庭を支える取組を進めました。」に修正します。

ページ	事業No	評価	コメント	担当課	回答((対応など))
65	1253	○		こども政策課 地域福祉課	回答不要
66	1254	×	全体の総括が未記載	保健医療課	こども健康センターにおいて生後2～6か月児と父母を対象に実施してきた「赤ちゃんと保護者のつどい」は、地域の子育て支援活動(つどいの広場、子育てサロン等)の充実に伴い、参加率の低下がみられたことから廃止することとし、母子保健活動において地域の子育て支援拠点等の周知・啓発に取り組む必要があると考えます。
67	1255	○	評価Bは他項目とのバランスがとれているのか	子育て支援課	参加者がいない回もあることによりBとしている。
			※他項目が適正に評価されていないという意味でのコメント	子育て支援課	回答不要
68	1256	○		子育て支援課	回答不要
69	1257	○	全体の総括で「7割以上の申し込み」ですとする判断説明は？	人権・男女共生課	7割以上の申し込み者数で一定の市民ニーズがあると考えており、また、参加者の満足度も高かったことから、総合的に判断して、事業の妥当性・重要性も高いと考えている。
70	1258	×	ほっとスポットの整備実績がないのに統合とは？	子育て支援課	ホットスポットの整備は実施せず、授乳・おむつ交換が可能な場所の情報提供を行うこととしたため。
71	1259	△	改良工事の当初整備計画との整合性は？	道路交通課	通学路やバリアフリー基本構想等に位置づけられた路線を中心に、計画期間内の竣工に向け、順次整備を進めております。
			※PDCAサイクルでの評価は困難では	道路交通課	回答不要
72	1260	×	1259に同じ	公園緑地課	回答不要
73	1261	○	評価Bは他項目とのバランスがとれているのか	道路交通課	事業の妥当性・重要性があり、活動実績から鑑みても評価(成果がやや高い)は妥当と考えております。
74	1301	×	評価基準が定まっていないのに評価Aとは！	学校教育推進課	3つの評価規準(事業の妥当性、市民ニーズ、事業の重要性)で評価した結果であります。
75	1302	×	実施事業と活動指標とがミスマッチ	学校教育推進課	活動指標にあげた内容は実施事業と概ねマッチングしております。
			※PDCAサイクルでの評価は困難では	学校教育推進課	回答不要

ページ	事業No	評価	コメント	担当課	回答((対応など))
76	1303	×	実践実績が未記載で評価Bとは？	学校教育推進課	3つの評価規準(事業の妥当性、市民ニーズ、事業の重要性)で評価した結果であります。
77	1304	○	未受験層へのとりくみは？	学校教育推進課	特別な対応はしておりません。
			※活動指標①学力低位層とは・説明すべき	学校教育推進課	平均正答率が40%以下の児童生徒としております。
78	1305	○		学校教育推進課	回答不要
79	1306	×	情報モラル教育における社会教育との連携・位置づけは？	教育センター	社会教育との連携については、地域等の様子をふまえ、各小・中学校で取り組みを行っております。
			※教員対象にのみ拘泥する理由は？	教育センター	教育センターの業務が教職員に対するものであるため、教職員を対象としております。
80	1307	△	参加人数の減少要因の分析がなされていないで、評価Aとは？	教育センター	参加人数の減少は、周知が弱かったこと及び、内容を充実させる必要があることと考えられますが、教職員研修は法に基づき実施しているため、事業の妥当性・重要性があり、教職員の資質向上は市民からのニーズも高いことから、評価をAといたしました。
81	1308	×	施設設備の実績が未記載で評価Aとは	施設課	整備内容が多く個別の数値化は難しいが、全体に整備は進んでおり、成果は高いと考えます。
			施設整備等の年次計画はつくられているのか？	施設課	一部(トイレ、プール)は作成していますが、全ての整備については作成していません。
82	1309	×	教育相談は誰がどこで実施するのか？	教育センター	専門的な資格を有する職員が、教育センターまたは教育委員会分室にて実施いたします。
			初回相談までの待ち時間改善についての検討がなされていない	教育センター	初回相談までの待ち時間改善に向け、報告や書類作成等事務業務の簡略化をすすめ、相談時間の確保に努めています。
			当事者の満足度の検証や助言後の追調査については？	教育センター	満足度の検証は行っておりません。また、継続的な相談であるため、助言後の追調査も実施しておりません。
			※待ちの事業展開になっていないか！=評価Aのエビデンスは？	教育センター	教育相談は条例に基づく教育センターの事業であるため、事業の妥当性があること。新規申込件数が年々増加しており、市民ニーズが高いこと。小・中学生に係る課題が多様化し、相談業務の重要性が増していることから、評価をAといたしました。
83	1310	×	望ましい食習慣の形成に結びついたエビデンスは？	学校教育推進課	全小・中学校が「食に関する指導の全体計画」を作成し、計画に基づいた指導ができていたことがエビデンスの一つであるととらえております。
			全体の総括「児童・生徒の健やかな心身を育むことができたのか？	学校教育推進課	「食に関する指導の全体計画」に基づいた指導ができていたことで推進できていると認識しております。
			全体の総括「児童・生徒の・・・育む取組の推進」できたのか？	学校教育推進課	
			事業概要での「望ましい食習慣」とは如何に評価するのか？	学校教育推進課	規則正しく、栄養のバランスを考えた食事をとろうとする児童生徒の実践的態度を評価しております。

ページ	事業No	評価	コメント	担当課	回答(対応など)
84	1311	△	事業概要の講習会の実施対象は？実施方法は？	保健医療課	小中学校の児童・生徒が主な対象ですが、希望があれば市内の高校でも実施します。学校からの講座希望を受け、学校や保健医療センターで授業形式で実施します。概要を一部修正します。
85	1312	×	講習会の実施状況の詳細は？…地域との連携多様な取り組みは？	保健医療課	夏休みに茨キッズクッキング、こどもクッキング、3月に三世代交流クッキングを実施しています。地域とは、市内の高校、中央卸売市場、見山の郷等と連携して取り組んでいます。
86	1313	△	校数が増えない要因は？	保健医療課	思春期保健教育は、学校により取組状況が異なるとお聞きしています。また、妊婦シミュレーターは大人用ですので、活用が難しいのではないかと考えています。
87	1314	△	貸し出し実績から見て、全体の総括はこれでいいのか？	保健医療課	教材貸出の実績は少ないですが、平成30年度は全小・中学校に教材の電子データを送付したことから、学校教育と地域との連携はできていると考えています。活動指標の一部を文言修正しています。
88	1315	×	「いじめ」についての対応実績が記載されていないのに評価Aとは？	学校教育推進課	3つの評価規準(事業の妥当性、市民ニーズ、事業の重要性)で評価した結果であります。
			※「いじめ」の認定件数等は？	学校教育推進課	
89	1316	×	1310に同じ	学校教育推進課	総合的に判断して推進できていると認識しております。
			※SC、SSWの配置状況は？	学校教育推進課	SCは全14中学校に配置、小学校は4名のSCを月2回程度派遣しております。SSWは5名のSSWを全14中学校区に配置1名ずつ配置しております。
90	1317	×	いじめ等の悩み相談の実施状況は？	学校教育推進課 教育センター	学校教育推進課としては、相談員による相談業務は行なっておりません。教育センターにおいて、電話によるいじめ相談を実施しており、H27年度20件、H28年度20件、H29年度26件、H30年度35件の相談に対応いたしました。
			活動指標①が未記載で統合とは？いかなる考えからか？	学校教育推進課	第5次プランの中で取組みを推進していくこととしております。
			活動指標②【A】啓発カードを配布するだけでOKなのか？	教育センター	児童・生徒が直接相談できる場をつくり、その存在を周知することが重要だと考えます。
91	1318	△	全体の総括不登校の実態把握による取組がみえない	教育センター	不登校の要因や背景は様々であるため、実態把握をもとに学校と連携し、個に応じた対応を行っております。
92	1319	×	活動指標①が未記載で評価Aとしたエビデンスは？	学校教育推進課	キャリア教育担当者会において、各校の担当者に対して、キャリア教育や全体指導計画に関する指導助言を行うことができたことをエビデンスの一つであるととらえております。

ページ	事業No	評価	コメント	担当課	回答((対応など))
93	1320	△	【C】できなかったことの要因分析なく評価Aとは？	学校教育推進課	3つの評価規準(事業の妥当性、市民ニーズ、事業の重要性)で評価した結果であります。
			対策委員会・協議会・説明会の催事別開催状況は？	学校教育推進課	対策委員会は年9回、協議会は年8回、私立高校入学合同説明会は年1回5日間実施しております。
94	1321	×	事業概要の実施実績がなくて評価Aとは？	学校教育推進課	3つの評価規準(事業の妥当性、市民ニーズ、事業の重要性)で評価した結果であります。
			就職希望生徒数の状況と事後指導の実績は？	学校教育推進課	就職希望生徒数名(家事従事含む)は4名であり、事後指導として茨木市進路保障協議会が事業所等と連携して追指導を実施しております。
95	1322	△	PDCAサイクルでの評価になじまない	学務課	回答不要
96	1323	△	1322に同じ	学務課	回答不要
97	1324	△	1323に同じ	学務課	回答不要
98	1327	×	事業概要と活動指標①との関連性が見られない	社会教育振興課	1327の表記が誤っていたため
			加入率が低下しているのに評価Aとは？	社会教育振興課	加入率は減少傾向だが、新規結成や合併により継続したこども会もあるため。
			※加入率の算定法は？	社会教育振興課	こども会加入児童数/市内全小学校在籍児童数

ページ	事業No	評価	コメント	担当課	回答((対応など))
99	1328	△	1327となぜ同一表記なのか？	社会教育振興課	1327の表記が誤っていたため
			講習会の参加実績は？評価Aとする根拠は？	社会教育振興課	参加実績を追加します。講習成果が地域のこども会活動に活かされていると判断しているが、参加者数の増加がみられないため評価をBに改める。
100	1329	×	全体の総括が未記載、少年団数が未記載	スポーツ推進課	シートに記載あり転記済、回答不要
			団員数は実人数か？延べ人数か？	スポーツ推進課	実人数
			どの様な健全育成につながったのか？	スポーツ推進課	スポーツを通じ、子どもの身体の健康増進をはかった
101	1330	×	1329に同じ	スポーツ推進課	シートに記載あり転記済、回答不要
			地域スポーツクラブ数は？経年変化は？	スポーツ推進課	2団体。1団体目2006年設立、2団体目2013年設立。
102	1331	△	こどもエコクラブの活動実績は？	環境政策課	各登録クラブの活動は全国事務局に報告されており、本市では把握しておりません。
			【C】活用しない要因は？対応策は？	環境政策課	活用しない要因は、各学校の教員により環境教育が実施されているためです。対応策としては、環境教育を行っている教員の意向を確認し、教材などプログラムの見直しを行います。
103	1332	△	【C】減少要因の分析は？	社会教育振興課	主に、就労化に伴う家庭教育学級生の減による
104	1333	△	1332に同じ	社会教育振興課	家庭教育学級開設数の減による
			参加者減において評価Aとする根拠は？	社会教育振興課	アンケート結果等により参加者の満足度は高く、学級運営に役立っていることがわかるが、参加者が減少傾向にあるためBに改める。
			※研修対象者や開催回数は？	社会教育振興課	家庭教育学級を含む社会教育関係団体のリーダーを対象、年2回予定
105	1334	○	小・中学校での実績は？	子育て支援課	学校教育推進課との役割分担のもと、子育て支援課では市内高校を対象として実施しています。
106	新1	△	【C】できなかったことの要因分析なく評価Aとは？	市民生活相談課	評価はBとしている。
107	1335	○	※ニーズや満足度の把握は？	社会教育振興課	継続利用者が多いことからニーズに応じていると考えている。
108	1336	○		学童保育課	回答不要
109	1337	△	ライフステージが空欄	学童保育課	対応済回答不要
			待機児童解消の実績がなくて評価Aとは？	学童保育課	評価基準の「事業の妥当性」、「市民のニーズに基づく事業実施」及び「受益者にとっての事業の重要性」について、全て評価に値すると考えられるため評価Aとしている。

ページ	事業No	評価	コメント	担当課	回答((対応など))
110	1338	○	研修参加数は？	学童保育課	H27:1,634人、H28:1,642人、H29:1,685人、H30:1,446人
111	1339	△	子供教室の設置数は？	社会教育振興課	全小学校区(32校)で設置
112	1340	×	活動実績がなぜ「刑法犯認知件数」なのか？	危機管理課	指標の設定を見直します。
			広報・啓発の取組実績は？	危機管理課	警察や関係団体と連携して行った啓発行事等の取組実績を追記します。
113	1341	△	犯罪件数減少は1340の認知件数と齟齬がある	危機管理課	シート内容が異なる事業の内容になっていたため修正しています。犯罪認知件数については本事業の指標として設定します。
			年次計画の目標値設定は？	危機管理課	具体的な目標値の設定は行っておりません。
			※ニーズが飽和となっていないのか？	危機管理課	令和元年度の補助金については、予定台数を超える申込がある等、現在もニーズはあると考えております。
114	1342	×	【C】がないのに評価Aなのか？	危機管理課	平成28年度に保育所、幼・小・中・高への配布や、定期的なこども健康センターでの健診時の配布により、子育て世帯への配布したことや、転入者への配布や出前講座等の機会を通じて一定の対象者へ配布できていると考えているため、「A」としております。
115	1343	△	学習会開催は？	子育て支援課 人権・男女共生課	支援課においては開催しておりません。
			カレンダーの配布効果の把握は？	子育て支援課 人権・男女共生課	支援課においては開催しておりません。
116	1344	△	①は一巡で事業目的達成となったのか？	市民生活相談課	若者の声を市政にいかすことを目的とした後続事業として、対象を小学生から中高大学生に移した未来ミーティングを実施している。
117	1345	△	※学習指導要領と整合性あるプログラムの件等は？	都市政策課	まちづくり塾は、「まち」や「まちづくり」への関心を高め、将来自らが住むまちや地域における主体的なまちづくり活動への参加につなげることを目的としており、文部科学省の学習指導要領との整合は図っておりません。
			体験型まちづくり学習の内容が不明	都市政策課	災害をテーマにした際は、自分の住むまちで災害発生時にどのような危険があるかを考え、マップを作成したり、防災センターを訪問しました。また、茨木市の北部地域の魅力を知り、北部地域の課題を考えるきっかけづくりに取り組んだ際は、里山センターを訪問し、間伐材を利用した木工体験を行いました。
118	1401	△	相談件数が伸びない、少ない中での評価Aとは？	社会教育振興課	少ないながら、青少年にかかわる相談があり、ニーズがあるが、認知度が伸びていないことから総合的に判断し、Bに改める。
119	1402	○		こども政策課	回答不要
120	1403	○		こども政策課	回答不要

ページ	事業No	評価	コメント	担当課	回答((対応など))
121	1404	○	経年により就労困難高リスク層が残るため後年ほど困難となる	商工労政課	回答不要
122	1405	△	高校との連携についての視線は？	こども政策課	大学を卒業して1年後に該当する事業のため高校連携せず
			全体の総括:本事業は相談場所の拡大なのか	こども政策課	記載誤り、修正済
123	1406	△	指標①受入れの減、指標②相手方作品の減なのに、評価Aとは？	文化振興課 社会教育振興課	作品数は減少しているが、作品数の増減のみを数値目標や評価対象としているものではなく、姉妹都市間の継続的な相互交流が目的であり、評価対象としている。
124	1407	×	指標①の取組状況が空欄であるのに、評価Aとは？	文化振興課	修正済回答不要
			※学校との連携は？	文化振興課	市内小・中学校に依頼し、国際親善都市協会の概要や活動内容がわかるよう、また、「国際交流の集い」について、多くの方に参加いただくため、ポスター掲示等の協力を頂き、周知を行っている。
125	1408	△	PDCAサイクルでの評価になじまない	社会教育振興課	回答不要
126	1409	△	青少年の健全育成環境の整備の具体像が描かれていない	社会教育振興課	
127	1410	△	【C】効率的啓発と講座申し込みが少ないとは矛盾するが評価Aなのか？	人権・男女共生課	事業の妥当性、市民ニーズ、重要性は高いと認識しており、学校に出向いての出前講座は対象学年全員が受講するので事業効果は高いと考えている。学校に出向いての講座については、申し込みが少ない状況であるが、引き続き活用を呼びかけていく。
128	1411	○	※地域の子ども会等との連携は？	社会教育振興課	修正なし。こども会事業も広く青少年の一部と考えている。
129	1412	○	土曜日講座の効果検証は？	社会教育振興課	特に実施していない
130	1413	×	全体の総括なき継続はPDCAサイクルにおいては理解できない	スポーツ推進課	シートに記載あり転記済、回答不要
131	新2	×	施策の方向、内容が定まっていない事業はあり得ない	居住政策課	第3期計画途中から実施のため未記載
132	2101	△	【C】総括・課題なき継続判断は、PDCAサイクルではルール違反	こども政策課	【C】課題等を追記
133	2102	△	講座の実施実績については？【C】空欄で継続とは？	こども政策課	講座の実績等を追記。 講座の実績は、H27:8人、H28:13人、H29:9人、H30:9人である。H27はPC講座を、直近3年は介護初任者研修を実施した。R元は、介護初任者研修受講者からの要望等を踏まえ、内容を見直して実施する。
			ひとり親家庭へのアクセスは十分であるのか？	こども政策課	相談において丁寧にヒアリングを行い、対応が必要となる場合は、制度を案内するとともに、適切に関係機関につないでいる。
134	2103	×	コメント不能	保育幼稚園事業課	回答不要

ページ	事業No	評価	コメント	担当課	回答((対応など))
135	2104	△	一斉受付後の途中受け入れについては？	学童保育課	途中入室の場合でも、利用調整指数の算定において優遇している。
136	2105	△	【C】が空欄で評価Aとは？	こども政策課	国の制度にもとづき、入所が必要となる世帯については、適切に対応できていると評価しているため。
			※入所世帯数は新規なのか継続なのか？	こども政策課	各年度中に入所している世帯数
137	2106	△	生活の安定をはかれたとは、具体的内容が不明！	こども政策課	ひとり親家庭が互いに情報共有することにより、日常生活を送るうえで抱える悩み等を相談し、当事者同士のつながりができた。
138	2107	○		建築課	回答不要
139	2108	○		こども政策課	回答不要
140	2109	○		商工労政課 こども政策課	回答不要
141	2110	△	PDCAサイクルでの評価になじまない	こども政策課	回答不要
142	2111	△	2110に同じ	こども政策課	回答不要
143	2112	△	2110に同じ	こども政策課	回答不要
144	2113	○	2110に同じ	こども政策課	回答不要
			【C】件数減少の分析は？社会減か周知不足かそれとも・・・	こども政策課	対象者が児童扶養手当と連動していることから、主な減少要因は当該手当と同じく社会減や所得増と考えられるが、それを上回る減少率となっていることから、制度の周知不足も要因と考える。
145	2201	○		子育て支援課	回答不要
146	2202	×	指標①が空欄で数字の意味が不明	子育て支援課	対応済回答不要
147	2203	○		子育て支援課	回答不要
148	2204	○	予算による制約が生じていないか？	子育て支援課	実績に応じた補助をしており、予算による制約はありません。
149	2205	×	指標①が空欄であるのに評価Aとは？	子育て支援課	利用者や事業所から周囲にも配布したいと希望があり、実際にまとめて取りに来ることもあり、配布数が多くなっているため。
150	2206	△	【C】参加数減少の要因分析は？	教育センター	研修実施に関する周知の弱さが考えられます。
151	2207	○		教育センター	回答不要
152	2208	○	PDCAサイクルでの評価になじむのか	学校教育推進課	回答不要

ページ	事業No	評価	コメント	担当課	回答((対応など))
153	2209	○	当事者の満足度の把握や追跡調査については？	学校教育推進課 教育センター	当事者の満足度の把握や追跡調査は実施しておりません。 満足度の把握や追跡調査は実施しておりません。
154	2210	○	【C】回数減少の要因分析は？	教育センター	言語聴覚士が所属する機関に通う幼児への重複した指導・支援を解消し、支援が必要な幼児への相談受け入れ体制を整えたことにより、当センターでの相談回数が減少いたしました。
155	2211	×	全体の総括が空欄で「継続」とするコメント不能	こども政策課	総括記入済
			新規事業とは切り離して評価すべき・評価Aと廃止には齟齬がある	こども政策課	廃止→NO1335に統合
156	2212	△	【C】希望者全入であったのか？	学童保育課	希望者全入です
157	2213	△	活動指標①と事業概要との整合が図れていない	障害福祉課	事業概要の「地域住民」は、より広義な「市民」に修正する。また、合理的配慮提供支援助成金制度の周知や利用勧奨にあたっては、市内の事業者に対して条例の趣旨等の説明とあわせて行っており、制度の利用数は障害理解の促進・啓発において活動指標として意味のあるものと考えている。そして、平成31年4月から、市内の事業者や市民活動団体(自治会・子ども会など)が行う障害者福祉の啓発(講演会)や、障害者(児)との交流事業、障害理解のための研修会(体験学習)等を対象に、その費用を助成する障害理解促進事業補助金事業を行っており、令和元年度以降、助成件数を活動指標①に追加する。
158	2214	○		子育て支援課	回答不要
159	2215	○	PDCAサイクルでの評価になじまないのでは	障害福祉課	回答不要
160	2216	×	指標①が空欄で評価Aとは？	子育て支援課 障害福祉課	相談者のニーズに対しては各関係機関との連携のもと、福祉サービスや必要な情報提供ができていたり、事業所説明会でのアンケートにおいても「色々な事業所があることを知れてよかった。」等概ね好評であったため。
161	2217	△	本事業は失敗だったのか？	保育幼稚園総務課	他の施策への計画において掲げることも検討しましたが、8/13時点で継続する方向性に転換しております。
162	2218	×	指標①が空欄で評価Aとは？	学校教育推進課	3つの評価規準(事業の妥当性、市民ニーズ、事業の重要性)で評価した結果である。
163	2219	○	PDCAサイクルの評価にはなじまないのでは	障害福祉課	回答不要
164	2220	○	2219に同じ	学務課	回答不要
165	2301	×	指標①が空欄で評価Aとは？	子育て支援課	全体の通告数が高まった要因の一つとして、児童虐待予防に係る周知活動により、市民の関心が高まった結果であると認識しています。
			キャンペーンの実績と評価は？	子育て支援課	
166	2302	○		子育て支援課	回答不要

ページ	事業No	評価	コメント	担当課	回答((対応など))
167	2303	○		子育て支援課	回答不要
168	2304	○		子育て支援課	回答不要
169	2305	○	PDCAサイクルの評価にはなじまないのでは	人権・男女共生課	回答不要
170	2401	○	PDCAサイクルの評価にはなじまないのでは	学校教育推進課	回答不要
171	2402	○	PDCAサイクルの評価にはなじまないのでは	学校教育推進課	回答不要
172	2501	○	伴走型の支援とは？	相談支援課	相談者の不安や課題の解決に向け、必要な制度へつなぐなど、相談者に寄り添った支援。
173	2501	×	事業番号が重複＝3101か	こども政策課	重複→新2502
			全体の総括、指標①が空欄でコメント不可	こども政策課	重複→新2502
174	3102	×	指標①が空欄	契約検査課	数値で表せない場合の為、ブランクとしている
			全体の総括がなされていない	契約検査課	対応済回答不要
175	3103	○		商工労政課	回答不要
176	3104	○	【C】男性参加減の要因分析は？	人権・男女共生課	若い男性にとって魅力的な講座であると受け取っていただけていないことと考えている。
177	3105	○	※評価Bはシビアでは・・他事業では大甘の評価が多いのに	人権・男女共生課	ニーズの掘り起こしが必要と考えているが、現状では十分ニーズがあるかどうかはわからないため、B評価としている。
178	3106	○		人権・男女共生課、 商工労政課	回答不要
179	3201	△	評価Aとする根拠＝エビデンスは？	商工労政課	働きやすい職場づくりを推進するため、平成29年度から制度を創設し、平成30年度末で9事業所を認定した。 平成30年度から正規雇用促進奨励金制度を活用し、働きやすい職場づくりへの取組の促進を図った。働きやすい職場づくり推進事業所に認定された事業所のうち3事業所が、正規雇用促進奨励金制度を活用した。 制度を創設するとともに、新制度利用促進を図る既存制度の拡充により、働きやすい職場づくり推進事業所に9事業所を認定したことから、評価をAとした。
			※「働きやすい職場づくり」について市役所での取組は？	人事課	従来の茨木市特定事業主行動計画に基づく取り組みに加え、平成31年4月からは、時間外勤務の上限時間の設定、各部長に所属職員の時間外勤務の実施状況を通知して職員間の応援体制の強化、年休取得計画表の作成、金曜日等に休暇を取得するプラスワン・フライデーの推進等の取り組みを行っています。

ページ	事業No	評価	コメント	担当課	回答((対応など))
180	3202	△	目標達成の阻害要因は？	人事課	平成30年9月に実施しました人事給与制度に関する職員アンケートでは、休暇を取得しにくい理由として、「周りに迷惑がかかると感じる」、「仕事が多忙である」、「職場の雰囲気取得しづらい」という回答が多くあり、それらが休暇取得の阻害要因になっていると考えております。
181	A1	×	レポートの体をなしていない	教育センター	相談員の資質向上のため、所内で実施する研修です。
182	A2	×	A1に同じ	人権・男女共生課	追記します。(9月13日締め切りの照会で回答する)
183	A3	×	A1に同じ	相談支援課	対応済回答不要
184	A4	×	A1に同じ	相談支援課	対応済回答不要
185	A5	×	A1に同じ	生活福祉課	回答不要
186	A6	×	A1に同じ	生活福祉課	回答不要
			PDCAサイクルの評価にはなじまないのでは	生活福祉課	回答不要
187	A7	×	A1に同じ	生活福祉課	回答不要
188	A8	×	A1に同じ	保育幼稚園事業課	修正済
189	A9	×	A1に同じ	学童保育課 社会教育振興課	
190	A10	○	施策の方向、施策内容が空欄なのは？	商工労政課	「IV 未来は変えられる こどもの貧困対策」は、施策の方向性、施策内容欄がないため、回答不要
191	A11	×	レポートの体をなしていない	学校教育推進課	表記の仕方について検討・改善が必要であると認識しております。
			※継続とする根拠は？	学校教育推進課	次世代育成支援行動計画の目的に沿うため、継続します。
192	A12	×	A11に同じ	学校教育推進課	表記の仕方について検討・改善が必要であると認識しております。
193	A13	×	※SC、SSWの配置状況と活動実績は？	学校教育推進課	SCは全14中学校に配置、小学校は4名のSCを月2回程度派遣しています。SSWは5名のSSWを全14中学校区に配置1名ずつ配置しています。活動実績は1316の通りです。
			A11に同じ	学校教育推進課	表記の仕方について検討・改善が必要であると認識しております。
194	A14	×	レポートの体をなしていない	保健医療課	食育推進ネットワークにおける総合的な食育の推進については、取り組んできた内容のPDCAを記載しておりますが、ご意見をいただいたとおり、広く市域で食育を推進することは、間接的に貧困のこどもへの対策につながると考えておりますが、貧困対策に特化した取組ではないことから、A14については削除していただけないかと考えています。

ページ	事業No	評価	コメント	担当課	回答((対応など))
195	A15	×	レポートの体をなしていない	保健医療課	施策内容を「心身の変化が著しい時期である妊娠・出産期において、妊産婦の心身の健康を保持し、安心して妊娠、出産できる環境を確保します。」とし、施策所管課の総括を「心身の変化が著しい時期である妊娠・出産期において、妊産婦の心身の健康を保持し、安心して妊娠、出産できる環境を確保します。」とします。
196	A16	○	施策の方向、施策内容が空欄なのは？	子育て支援課	記入漏れ「各事業における、支援者の質的向上を目的とした研修・情報共有の機会提供」を記載します。
197	A17	△	実施事業の記述内容は意味不明	子育て支援課	事業実施のための必要な資格取得について項目をあげていたため、事業ではないため削除します。
198	A18	△	A17に同じ	子育て支援課	他市町で開催される研修等に参加するものであり、事業ではないため削除します。
199	A19	×	指標①が空欄	子育て支援課	プレパパプレママについては、拠点事業に統合のため、貧困カテゴリーから削除いたします。
200	A20	○	スキルアップ向上のエビデンスは？	こども政策課	明確なデータは示せないが、ほぼ毎年実施される制度改正に係る最新情報の入手や、他市との情報交換・共有によるスキルアップは、適切かつ円滑な相談の実施に必要不可欠である。